

## 予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：社会福祉諸費

### 事業名 ケアラー支援推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 地域福祉課 地域福祉係 電話番号：058-272-1111(内3448)

E-mail：c11219@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,359 千円 (前年度予算額： 7,784 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	7,784	0	0	0	0	0	0	0	7,784
要求額	3,359	0	0	0	0	0	0	0	3,359
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

身近な人に対し、無償で介護、看護、日常生活上の世話等のケアを行う「ケアラー」は、ケアを受ける者を支える上で重要な役割を果たしているが、ケアを行うことによる精神的・身体的・経済的負担により、日常生活に困難を抱え、社会から孤立している者が存在しており、社会全体でケアラーを支援することが重要となっている。

### (2) 事業内容

- ・ケアラー支援推進計画の進捗管理(668千円)

ケアラー支援に関する有識者会議を開催し、学識経験者、支援機関及び当事者団体からの意見を得ながら、計画の進捗状況について評価・分析を行う。

- ・ケアラー支援推進のための広報啓発(2,691千円)

ケアラー本人、ケアラーを雇用する事業者、県民を対象に、対象者の属性や世代に応じた方法(セミナーの開催、SNSへの広告出稿等)により広報・啓発を行う。

### (3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

条例に基づき、県独自のケアラー支援を推進するものであり、県負担は妥当。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	344	有識者会議委員等への謝金
旅費	184	有識者会議委員への費用弁償等
需用費	97	一般消耗品費（用紙、コピー）等
役務費	48	郵送代、電話代
委託料	2,615	セミナーの開催、SNSへの広告出稿費用等
使用料及び賃借料	71	有識者会議の開催に係る会場借上料
合計	3,359	

## 決定額の考え方

## 4 参 考 事 項

### (1) 各種計画での位置づけ

第5期岐阜県地域福祉支援計画

岐阜県ケアラー支援推進計画

### (2) 国・他県の状況

7つの都道府県でケアラー支援に関する条例が制定済み。

うち、5つの都道府県において、ケアラー支援に関する計画を策定し施策を推進

### (3) 後年度の財政負担

引き続き、ケアラー支援に関する広報・啓発に係る費用、計画の評価・検証に係る費用が必要になる見込み。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

ケアラーが個人として尊重され、健康で文化的な生活を営むことができる社会の実現のため、ケアラー本人が支援を求める声を上げやすく、周囲の者が支援を必要とするケアラーに声をかけやすい環境を整備する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R )	達成率
①						

### ○指標を設定することができない場合の理由

ケアラー支援に係る推進計画を策定し、施策の総合的な推進に取り組むことが目的であるため、指標の数値化は困難。

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	未実施  指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	未実施  指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアラーに関する実態調査を実施し、県内のケアラーの状況を把握した。</li> <li>・有識者会議を開催し、学識経験者、支援機関及び当事者団体の代表者の意見を得ながら、「岐阜県ケアラー支援推進計画」を策定した。</li> </ul> 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	ヤングケアラーや老々介護など、ケアに関する課題が顕在化している。総人口に占める高齢者人口の増加に伴い、ケアに携わる県民は今後も増加していくと考えられる。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	令和6年度に策定した「ケアラー支援推進計画」に基づき、広報・啓発をはじめとする関連施策を実施している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	取組の推進に当たっては、各分野における関連施策の活用を図ることとしている。

### (今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 ケアラー本人が支援を求める声を上げやすく、周囲の者が支援を必要とするケアラーに声をかけやすい環境を整備するためには、ケアラー本人やケアラーを雇用する事業者、県民に対する広報・啓発を効果的に実施することが必要	
--	--

### (次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 岐阜県ケアラー支援推進計画に基づき、広報・啓発等の施策を計画的に推進していく。	
---	--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	